

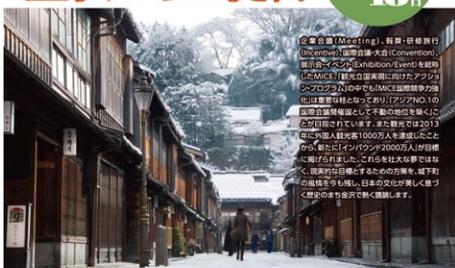
# 地域から発信するMICE

## ～国際観光コンベンションフォーラム10周年～

**国際観光コンベンションフォーラム 2015 in 金沢**

インバウンド2000万人を目指して  
日本MICE—その課題と展望  
**金沢からの提言**

2015年  
2月17日(水)～18日(木)



本大会は、2015年2月17日(水)～18日(木)の2日間、金沢市にある「金沢コンベンションセンター」で開催される。本大会は、2015年2月17日(水)～18日(木)の2日間、金沢市にある「金沢コンベンションセンター」で開催される。本大会は、2015年2月17日(水)～18日(木)の2日間、金沢市にある「金沢コンベンションセンター」で開催される。

**【お問い合わせ・申し込み】**  
日本コンベンション研究会事務局  
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1  
（旧札幌国際プラザ）5階501号室  
TEL 011-211-3676 FAX 011-232-3833  
URL <http://www.japan-convention.net>  
E-mail [info@japan-convention.net](mailto:info@japan-convention.net)

**国際観光コンベンションフォーラム 2016 in 岡山**

スポーツインバウンドから考える  
日本MICEの未来

2016年  
3月17日(水)～18日(木)



2014年の訪日外国人数は1341万人を突破、いまだ増加傾向の続く2000万人達成も現実的な目標となってきています。一方で、受け入れ態勢の面で、アコモデーションの確保、MICE施設の整備が喫緊の課題となっています。

また、2020年を目前に、スポーツ・コンベンション、スポーツ・ツーリズムの発展が全体的に高まっており、特に岡山では国際会議の誘致と、地方自治体の活性化の観点から、MICE施設の整備が喫緊の課題となっています。

地域から日本MICEに貢献を続けてきた国際観光コンベンションフォーラム。今年も岡山、新アジアの発展を促す岡山と、日本の初訪日外国人の文化のまち金沢から発信する。

**【お問い合わせ・申し込み】**  
岡山県岡山県庁 観光振興課  
〒700-0901 岡山県岡山市東区東山1-1-1  
TEL 086-251-1111  
URL <http://www.okayama-gokan.jp>

**国際観光コンベンションフォーラム2017 in 新潟**

MICEの魅力で  
地域を創造!

2017年  
3月9日(水)～10日(木)



本大会は、2017年3月9日(水)～10日(木)の2日間、新潟市にある「新潟コンベンションセンター」で開催される。本大会は、2017年3月9日(水)～10日(木)の2日間、新潟市にある「新潟コンベンションセンター」で開催される。

本大会は、2017年3月9日(水)～10日(木)の2日間、新潟市にある「新潟コンベンションセンター」で開催される。本大会は、2017年3月9日(水)～10日(木)の2日間、新潟市にある「新潟コンベンションセンター」で開催される。

**【お問い合わせ・申し込み】**  
日本コンベンション研究会事務局  
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1  
（旧札幌国際プラザ）5階501号室  
TEL 011-211-3676 FAX 011-232-3833  
URL <http://www.japan-convention.net>  
E-mail [info@japan-convention.net](mailto:info@japan-convention.net)

**JTB総合研究所 主席研究員 東京国際大学 客員教授 太田 正隆**

全国の研究者、自治体、観光協会、コンベンションビューロー、観光コンベンション関連企業、施設等、MICE・集客交流産業の在り方や課題等を地域の立場から議論する場として2006年から毎年開催され、地域から日本のMICEの提言を続けてきた「国際観光コンベンションフォーラム」が、去る3月に新潟で開催された。開催10回目となる節目の年である。今年のテーマは「地域の魅力でMICEを創造」である。今回はこのフォーラムを通じて地域から発信するMICEについて考えてみたい。



**はじめに**

国際観光コンベンションフォーラムは、2年後にサミットを迎えた2006年に札幌で産声を上げている。NPO法人コンベンション札幌ネットワーク及び（公財）札幌国際プラザ等が主管となって「MICE・集客交流産業の在り方や課題等を地域の立場から議論する場」として開催されることとなった。特に2008年5月に開催された「北海道洞爺湖サミット」では、前回の「九州沖縄サミット」の福岡（財務大臣会合）、宮崎（外務大臣会合）をはるかに上回る各種の大臣会合が青森、新潟、京都、大阪、神戸、千葉、横浜で開催された。こうした地域の国際化や地域間競争激化等の中で、地方都市における観光コンベンションには、

これまで以上に地域文化創造や新たなビジネス創出を図る役割が求められている、という問題意識を踏まえた議論をめざしている。

2009年に松江・米子で開催されたフォーラムでは「日本コンベンション研究会」として全国の研究者、自治体、観光協会、コンベンションビューロー、観光コンベンション関連企業、施設等の関係者が発起人、事務局等のコア業務は札幌国際プラザが担い手となって組織を発足させている。日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー（JCCB）や日本コンベンション協会（JCMA）とは異なる構成と目的を持ち、日本各地でコンベンション創造に関わる産学官、地域を拠点としてコンベンション創造を進めるさまざまな組織が連携する全国的な研究組織である。



パネルディスカッション

**トピックス**

新潟大会ではテーマを「地域の魅力でMICEを創造!」として、日本海における最大級の見本市に成長した「新潟淡麗新潟酒の陣」に合せて開催。開会直後の特別講演では新潟酒の陣実行委員長の齋藤俊太郎氏（麒麟山代表取締役社長）から、新潟県酒造組合創立50周年を記

念して2004年の立上げから、12万人（昨年実績）へと大きく拡大した「新潟淡麗新潟酒の陣」の取組について紹介。新潟県内には約90の蔵元があり、酒にまつわるイベントをとということからドイツで秋に行われる「オクトーバーフェスト」をモデルに立ち上がったというエピソード。また、酒だけではなく新潟県内の山海珍味、県内の食材を利用した郷土料理の提供等、地元との連携に力を入れて県内外からの来場者が楽しめるイベントとしている。

基調講演では「MICEによる地方創生／地域資源がMICEを生み出す」として岡村 篤氏（野村総合研究所）、2つの分科会ではそれぞれ「地域資源をどう掘り起こし、活用するか」、「チャレンジャー中小規模MICEをターゲット」として事例などを交えながら議論。2日目のパネル

ディスカッションでは「インバウンド・MICEにプラス・ワン」として、小堀 守氏（JNTO 理事）、ゲライント ホルト氏（THE J TEAM 代表取締役）、葉葦 正幸氏（今代司酒造 代表取締役会長）をパネリストに迎え、宍戸 学（横浜商科大学教授）をコーディネーターとして体験プログラムの開発など付加価値をつけることで地域への経済効果をさらに高めることになるなど実践的で熱心なディスカッションとなった。

ポストMICEとして「エクスカージョン&MICEサロン・ミーティング」が実施され、旧第四銀行住吉支店の建物を移築・再生し開店したイタリアンレストランで、ランチやパネルディスカッションが紹介された今代司酒造酒蔵で受入態勢等の視察を行う等実践的な体験を行った。国際観光コンベンションフォー



意見交換会であいさつする石森会長

ラムでは、特別講演を地元で顕著な活動をされている方々にお渡しし、基調講演としてその時々の最新のトピックス、分科会は開催地域の話と他地域の先進事例、パネルディスカッション、最終日の午後にはアフター MICEとして開催地域資源の体験や視察、ユニークベニューを活用したサロン・ミーティングというプログラムで構成されている。

回数	開催地	テーマ	期日	会場	
第1回	札幌市	持続可能な地域づくりと観光コンベンションの役割 ～集客交流の未来を語る～	2006年	10/19	札幌ファクトリーホール
第2回	札幌市	観光コンベンションのための都市マーケティング	2008年	2/26-27	北海商科大学
第3回	松江市 米子市	観光コンベンションと地域の未来 ～創客・創流の時代へ～	2009年	3/10-11	くにびきメッセ 米子コンベンションセンター
第4回	札幌市	新たなMICEをデザインする	2010年	3/9-10	北海商科大学
第5回	富士市	JAPAN MICE再生	2011年	11/28-29	富士市文化会館
第6回	青森市	チームMICE日本、新たな挑戦	2013年	3/14-15	ねぶたの家ワ・ラッセ
第7回	札幌市	MICE再創造へ新たな一歩！	2014年	2/4-5	ロイトン札幌
第8回	金沢市	インバウンド200万人を目指して 日本MICE ―その課題と展望― 金沢からの提言	2015年	2/17-18	石川県政記念 しいのき 迎賓館
第9回	岡山市	スポーツ、インバウンドから考える日本MICEの未来	2016年	3/17-18	ままかりフォーラム
第10回	新潟市	地域の魅力でMICEを創造！	2017年	3/9-10	朱鷺メッセ

**国際観光コンベンションフォーラム 2015 in 金沢**

**第1日 2月17日**

- 13:00 開会・開場
- 13:30 特別講演
- 14:30 基調講演
- 15:45 休憩
- 16:00 分科会
- 17:30 プレゼンテーション
- 18:00 意見交換会

**第2日 2月18日**

- 9:30 パネルディスカッション
- 11:00 閉会
- 11:30 閉会
- 12:00 ひがし高麗川(金沢運河)づくり体験
- 12:00 MICEサロン・ミーティング
- 18:00 意見交換会

会場：石川県政記念 しいのき迎賓館

**国際観光コンベンションフォーラム 2016 in 岡山**

**第1日 3月17日**

- 12:30 日コンベンション研究会 総会
- 13:30 開会
- 13:30 閉会
- 13:50 特別講演
- 14:30 基調講演
- 16:00 分科会
- 17:30 分科会終了
- 18:00 意見交換会

**第2日 3月18日**

- 9:30 パネルディスカッション
- 11:00 閉会
- 11:30 閉会
- 12:00 オプション
- 12:00 エクスカーション&MICEサロンのミーティング
- 18:00 意見交換会

会場：山形ホテル

**国際観光コンベンションフォーラム 2017 in 新潟**

**第1日 3月9日**

- 13:00 開会
- 13:15 閉会
- 13:30 特別講演
- 14:10 基調講演
- 15:00 休憩
- 15:15 分科会
- 17:30 プレゼンテーション
- 18:00 意見交換会

**第2日 3月10日**

- 9:30 パネルディスカッション
- 11:00 閉会
- 11:45 オプション
- 15:30 MICEサロン・ミーティング
- 17:30 意見交換会

会場：朱鷺メッセ

2015 in 金沢 プログラム

2016 in 岡山 プログラム

2017 in 新潟 プログラム

## 他業界との考察

MICE最後のE・イベント業界では、こうした研究活動が盛んである。業界団体として日本イベント産業振興協会(JACE)が組織化され、個人会員を中心とした日本イベントプロデュース協会(JEPC)、イベント管理士の有資格者で構成される日本イベント業務管理士協会(JEDS)、イベント学をめざす「イベント学会」がある。「イベントは、限りなく複雑多様であり、一義的な定義が困難である。そのため、既成科学の方法によるさまざまな『イベント学』構築の試みを困難にしてきた。既成科学の方法とは、客観性と決定性を前提に、対象を要素に分解して、精緻な論理によって知識の体系化をめざす試みである」とし、イベント研究者のみならず、さまざまな分野の研究者、技術者、専門家や実務者が、経験や知識の多少にかかわらず参加している。(イベント学会HPより)

イベント学会では、2020東京オリンピック・パラリンピックとポスト東京オリパラを踏まえ、新国立競技場をはじめとする大型スタジアムにおけるイベントのあるべき事業プランを研究し政策提言を行うことを目的としてスタジアムイベント研究会を立上げ、「コンセッション研究部会」、「イベントプログラム研究部

会」、「スポーツMICE研究部会」の3つの研究部会を組織し活発な活動を行っている。イベント学会としての年に一度の研究大会とこうした研究部会の活動を通じて、積極的に論文発表や研究発表を行っている。

## まとめ

国際観光コンベンションフォーラムは、今回の開催で10回目を迎えた大きな節目である。主催している日本コンベンション研究会には、以下の通り5つの大きな柱がある。

1. コンベンションに関する理論、技術、人材の育成
2. ステナブルなコンベンションの研究
3. 地域コーディネート機能の強化
4. 地域組織の全国的連携の促進
5. 国際的コンベンション組織との連携

「MICE」とひとくくりされているが、実際にはそれぞれビジネスモデル、開催目的、地域における期待など様々である。MICEと呼ばれるようになるまでは、コンベンション、イベント、報奨旅行、展示会等一見して相互の関係はあまり感じるができなかったが、2006年頃から「MICE」という分野で括ったことでこうした集客産業に対する様々な興味や関心は高まったことも事実である。観光やインバウンドという立場からは「レジャーラベル」から「ビジネス

ラベル」、最近では地方創生、地域振興、地域活性化のキーワードとなりつつある。さらには昨年末に可決された「特定複合観光施設区域の整備の推進に関する法律」、通称・IR (Integrate Resort)・統合型リゾートに関する法案では「会議場施設、展示施設」を含むMICEが統合され成り立つことが重要なポイントとなっている。こうしたことも踏まえて今後ますます期待されるMICEの中核を成すコンベンション研究においても、イベント業界同様に業界団体、研究団体、教育機関等が一体化して理論・技術・人材育成等の研究態勢を構築し一層の推進がなされることを強く願うものである。2018年の国際観光コンベンションフォーラムは「長崎ランタンフェスティバル」に合せて長崎県長崎市で開催される。ぜひ、参加されたい!

### 【参考資料】

- 日本コンベンション研究会  
・ <http://www.japan-convention.net/>
- 札幌コンベンションネットワーク  
・ <http://www.sapporo-convention.net/>
- (公財)札幌国際プラザ  
・ <http://www.plaza-sapporo.or.jp/>
- 日本イベント産業振興協会  
・ <http://www.jace.or.jp/>
- 日本イベント業務管理士協会  
・ <http://www.jedis.org/>
- 日本イベントプロデュース協会  
・ <http://www.jepc.com/>
- イベント学会  
・ <http://www.eventology.org/>



ホストの新潟関係者の挨拶



旧第四銀行住吉支店の建物を移築・再生し開店したイタリアンレストランランチ



再生レストランでの現代司酒造酒蔵で受入態勢等の視察



次回開催の長崎からのプロモーション



酒の陣



新潟酒の陣 場内行列



新潟酒の陣 場外行列